

- 問1 ある都道府県の統計において、米の産出額が約194億円であるのに対し、野菜が約643億円、果実が約298億円と農業産出額が全体的に大きく、さらに漁業産出額も約551億円という非常に高い水準にある自治体として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
1. 静岡県 2. 山梨県 3. 大阪府 4. 新潟県
- 問2 富山県の山岳地帯には、黒部峡谷に代表される深い渓谷や火山活動による湖など、豊かな自然景観が見られます。これらの地域が指定されている国立公園の名称として正しいものを選択してください。 (2025年 東京都公立入試 類似)
1. 瀬戸内海国立公園 2. 中部山岳国立公園 3. 十和田八幡平国立公園 4. 阿蘇くじゅう国立公園
- 問3 日本の気候区分のうち、1月の最低気温が2度前後まで下がり、冬の降水量が夏の約2.6倍に達するような、冬に降水が集中する特徴を持つ気候帯はどれですか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
1. 太平洋側の気候 2. 瀬戸内の気候 3. 日本海側の気候 4. 中央高地の気候
- 問4 日本の北陸地方では、江戸時代から続く技術を継承した伝統的工芸品が多く生産されています。石川県において生産されている伝統的工芸品の組み合わせとして、正しいものはどれですか。 (2020年 茨城県公立入試 類似)
1. 越前漆器・越前和紙・輪島塗 2. 輪島塗・越前和紙・九谷焼 3. 輪島塗・加賀友禅・九谷焼 4. 高岡銅器・加賀友禅・山中漆器
- 問5 石川県金沢市において、江戸時代から続く伝統的工芸品である加賀友禅の生産が、現在も受け継がれている歴史的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 岐阜県公立入試 類似)
1. 加賀藩の歴代藩主が文化振興を奨励し、優れた職人を招いて技術を保護・育成したため 2. 明治時代に官営模範工場が設置され、西洋の技術を取り入れた機械化が急速に進んだため 3. 北陸新幹線の開通に伴い、観光客向けのお土産として近年になって新たに開発されたため 4. 日本海側の湿潤な気候を利用して、原料となる綿花の栽培が江戸時代から盛んに行われていたため
- 問6 日本の気候区分のうち、周囲を高い山々に囲まれた盆地で見られる、年間を通じて降水量が少なく、夏と冬の気温の差が大きい気候を何といいますか。 (2018年 群馬県公立入試 類似)
1. 太平洋側の気候 2. 瀬戸内の気候 3. 中央高地の気候 4. 日本海側の気候
- 問7 静岡県の産業構造の特徴として、第2次産業の就業者割合が他の地域に比べて高いことが挙げられる。この要因となった背景として最も適切なものはどれか。 (2025年 青森県公立入試 類似)
1. 広大な土地を利用した大規模な畑作や酪農が展開されているため 2. 自動車や楽器などの製造業が発達し、東海工業地域の一角を占めているため 3. 美しい自然景観を生かした観光業が主要産業となっているため 4. リンゴなどの果樹栽培が盛んで、それに伴う食品加工業も多いため
- 問8 日本の地形の特色について述べた次の文のうち、中部地方に位置する「木曽山脈」の説明として最も適切なものを選びなさい。 (2023年 埼玉県公立入試 類似)
1. 東北地方の中央を南北に走る、日本で最も長い距離を持つ山脈。 2. 中国地方の中央部を東西に走り、山陰と山陽の気候を分ける山脈。 3. 飛騨山脈と赤石山脈の間に位置し、日本アルプスの一角をなす標高の高い山脈。 4. 新潟県と群馬県の県境に位置し、季節風を遮ることで日本海側に大雪をもたらす山脈。
- 問9 日本の主な工業地帯・地域における製造品出荷額の割合を示した統計において、機械工業が全体の約7割という突出した高さを示し、特に輸送用機械の製造が中心となっている工業地域はどこですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
1. 北九州工業地域 2. 阪神工業地帯 3. 瀬戸内工業地域 4. 東海工業地域
- 問10 製造品出荷額に占める工業分野別割合において、輸送用機械器具の割合が約半数を占め、全体の製造品出荷額等でも全国トップである愛知県の工業に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 宮崎県公立入試 類似)
1. 石油化学コンビナートが形成され、化学工業の割合が最も高くなっている。 2. 電子部品や半導体の生産が盛んで、内陸部の高速道路沿いに工場が集積している。 3. 製鉄所を中心とした鉄鋼業が発達し、臨海部に巨大な重工業地帯が広がっている。 4. 自動車工業を中心に発達し、豊田市などに大きな工場が集团的に立地している。
- 問11 中部地方は、地形や気候の特色からさらに3つの地域に細分されることがあります。愛知県や名古屋市が含まれる、太平洋に面した地域の名称として適切なものを選びなさい。 (2019年 山口県公立入試 類似)
1. 東海 2. 山陰 3. 中央高地 4. 北陸
- 問12 日本の農業産出額の構成を示した統計において、米の産出額に比べて、野菜と果実の産出額が非常に高い割合を占めている内陸の県があります。この県で行われている農業の特色として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 静岡県公立入試 類似)
1. 標高の高い地域で、夏の冷涼な気候を活かして野菜の出荷時期を遅らせる栽培が行われている 2. 都市近郊の立地を活かして、新鮮な野菜を素早く消費地へ届ける近郊農業が行われている 3. 広大な平野と豊富な水資源を活かして、単作による大規模な稲作が行われている 4. 温暖な気候を活かして、冬でも温暖な時期に野菜を早く育てる促成栽培が行われている
- 問13 日本の冬の気候において、日本海側で世界的に見ても稀なほどの降雪が見られる要因を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 群馬県公立入試 類似)
1. 赤道付近で発生した熱帯低気圧が日本海を北上し、大陸からの寒気と混ざり合うことで大雪をもたらすため。 2. 大陸からの冷たく乾燥した季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を取り込み、山脈にぶつかって上昇するため。 3. 冬に勢力を強める小笠原気団が日本列島を覆い、日本海側の湿った空気を急激に冷やすため。 4. 太平洋側から吹く温かく湿った季節風が、高い山脈を越える際に冷却されて雪を降らせるため。
- 問14 日本の茶の主産地では、4月上旬頃の気象条件に合わせて「防霜ファン」を稼働させることがあります。この設備が稼働する背景となる自然現象と、その仕組みについて説明した文として正しいものを選びなさい。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
1. 晴れた夜間に発生しやすい放射冷却によって地表付近の温度が下がるため、上空の暖かい空気を循環させて凍結を防ぐ。 2. 梅雨時期の高温多湿な環境で発生する病原菌を抑えるため、風を送り続けて茶の葉の表面を乾燥させる。 3. 夏場の強い日差しによる土壌の乾燥を防ぐため、風を送ることで地中の水分を効率よく吸い上げさせる。 4. 春先に発生しやすい濃霧が日照を妨げるため、扇風機で風を霧を散らして茶の芽の成長を促進させる。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 静岡県	静岡県は、温暖な気候を利用した茶やみかん、温室野菜などの栽培が盛んで、農業産出額において高い数値を誇ります。これに加えて、駿河湾などの豊かな漁場や、焼津港といった全国有数の水揚げ量を誇る漁港を有しているため、漁業産出額も他県に比べて極めて大きいという特徴があります。
問2	答え 2 中部山岳国立公園	富山、新潟、岐阜、長野の4県にまたがる飛騨山脈（北アルプス）を中心とした地域は、中部山岳国立公園に指定されています。この公園内には、河川の浸食によって形成されたV字谷である黒部峡谷や、火山活動によってできたミクリガ池などの美しい景観が広がっています。
問3	答え 3 日本海側の気候	日本海側の気候は、北西の季節風の影響を強く受けるため、12月から1月にかけての降水量（降雪量）が非常に多くなるのが最大の特徴です。提示された統計情報の通り、夏の降水量が150mm程度であるのに対し、冬の降水量が400mmに達する傾向は、太平洋側の「冬に乾燥し晴天が続く」特徴や、瀬戸内の「年間を通じて降水量が少ない」特徴とは明らかに異なります。
問4	答え 3 輪島塗・加賀友禅・九谷焼	石川県には、能登地方の輪島塗、金沢周辺に加賀友禅や金沢箔、九谷焼、加賀地方の山中漆器など、数多くの伝統的工芸品が集中しているのが特徴です。選択肢に含まれる越前漆器や越前和紙は福井県、高岡銅器は富山県を代表する伝統的工芸品であり、県ごとの産地の違いを整理しておくことが重要です。
問5	答え 1 加賀藩の歴代藩主が文化振興を奨励し、優れた職人を招いて技術を保護・育成したため	江戸時代の加賀藩は、武力よりも学問や産業、特に工芸の振興に力を注ぐ政策をとりました。藩が設置した御細工所などを通じて全国から優れた職人を招き、手厚い保護を加えたことで、加賀友禅や金沢箔、九谷焼といった高度な伝統技術がこの地に定着し、現代まで続く産業の基盤が築かれました。
問6	答え 3 中央高地の気候	周囲を山に囲まれた地形では、海からの湿った空気がさえぎられるため、年間を通して降水量が少なくなります。また、内陸部に位置するため、夏は気温が非常に高くなり、冬は氷点下まで下がるなど、気温の年較差（気温差）が大きくなるのが特徴です。
問7	答え 2 自動車や楽器などの製造業が発達し、東海工業地域の一部を占めているため	工業出荷額などが全国でも上位に位置する工業県であり、特に輸送用機械や楽器などの製造業に従事する人口が多いため、第2次産業の割合が高くなる。選択肢にある大規模な畑作や酪農は北海道、リンゴ栽培は青森県の特徴である。
問8	答え 3 飛騨山脈と赤石山脈の間に位置し、日本アルプスの一角をなす標高の高い山脈。	木曽山脈は長野県に位置し、西側の飛騨山脈、東側の赤石山脈とともに「日本の屋根」と呼ばれる険しい地形を構成しています。他の選択肢にある奥羽山脈は東北地方、越後山脈は主に新潟県付近、中国山地は中国地方に位置する山脈であり、所在地や地形的特徴が異なります。
問9	答え 4 東海工業地域	東海工業地域は、中京工業地帯と隣接していることから、自動車部品などの輸送用機械の製造が極めて活発です。出荷額の内訳において機械工業が占める割合が非常に高いことが統計上の大きな特徴です。一方、瀬戸内工業地域は化学や鉄鋼の割合が高く、阪神工業地帯は金属や機械のバランスがとれていますが、機械の割合は東海ほど極端ではありません。
問10	答え 4 自動車工業を中心に発達し、豊田市などに大きな工場が集中的に立地している。	製造品出荷額が全国1位の愛知県では、豊田市などを中心に自動車工業が著しく発達しています。石油化学コンビナートが盛んなのは三重県や山口県などであり、電子部品・半導体は九州地方や東北地方などの特徴となります。
問11	答え 1 東海	中部地方はその範囲が広いため、日本海側の「北陸」、標高の高い山々が連なる内陸の「中央高地」、太平洋側の「東海」の3つに区分されます。愛知県は静岡県や岐阜県（南部）とともに東海地域に分類され、中京工業地帯の中心地として発展しています。
問12	答え 1 標高の高い地域で、夏の冷涼な気候を活かして野菜の出荷時期を遅らせる栽培が行われている	長野県は内陸の厳しい気候や標高差を活かした農業が特徴です。特に夏の涼しさを利用して、平地での収穫が少なくなる時期にレタスなどの野菜を出荷する「抑制栽培（高原野菜の栽培）」が行われており、これが高い野菜産出額につながっています。選択肢にある「単作による大規模な稲作」は新潟県などの特色、「促成栽培」は高知県や宮崎県などの特色、「近郊農業」は千葉県や埼玉県などの特色です。
問13	答え 2 大陸からの冷たく乾燥した季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を取り込み、山脈にぶつかって上昇するため。	冬になると、ユーラシア大陸にあるシベリア高気圧から北西の季節風が吹き出します。この風はもともと乾燥していますが、対馬海流（暖流）が流れる日本海を渡る際に大量の水蒸気を蓄えます。この湿った空気が日本列島の脊梁山脈にぶつかって上昇し、冷却されることで日本海側に多量の雪を降らせます。これに対し、山を越えた後の風は乾燥するため、太平洋側では晴天の日が多くなります。
問14	答え 1 晴れた夜間に発生しやすい放射冷却によって地表付近の温度が下がるため、上空の暖かい空気を循環させて凍結を防ぐ。	茶の産地において、春先の気温低下は「晩霜（ばんそう）被害」として恐れられています。特に雲のない晴れた夜間は放射冷却が強まり、地表付近の温度が氷点下近くまで下がる場合があります。このとき、地上6～8メートル付近には地表よりも数度高い温度の空気層（逆転層）ができるため、防霜ファンでその暖かい空気を地表に送り込むことで、デリケートな新芽が凍りつくのを防いでいます。